

Block 1-4 期

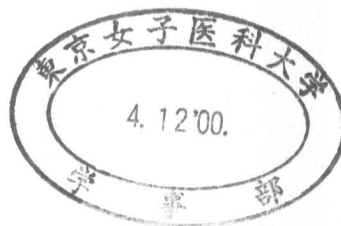
Tutorial 課題 No. 13

「目的地へ到達するまでには」

(薬物の体内動態と作用機序 [解熱鎮痛薬])

2000

薬理学教室



2000-B1-T4-13
目的地へ到達するまでには

シート 1

女子医大生の良子さんと菊子さんは、今年の夏休みに初めてのヨーロッパ旅行に出かけます。今日は、学生食堂で旅行の持ち物をお互いに確認しています。

良子「パスポートとガイドブックとクレジットカードとそれから、ハックション！」

菊子「大丈夫？風邪引いたんじゃないの？熱はないの？」

良子「うん、さっきからちょっと寒気がして熱っぽいよ。」

良子さんは、家に帰って体温計で体温を計ってみると38°Cの熱がありました。

シート 2

良子さんは、家にある救急箱の中を捜しましたが、あいにく解熱薬がみつかりません。そこでお母さんに頼んで薬局へ買いに行ってもらうことにしました。

薬局には、いろいろな薬が置いてあって、お母さんはどの薬を買おうか迷っています。「この薬は、テレビのコマーシャルで早く効くって宣伝してるけど、本当に飲んでからすぐに効くのかしら。ええっと、15才以上、一回2錠、一日2回を限度として服用って書いてあるわ。」

お母さんが買ってきてくれた解熱薬を飲んで一時間ぐらい経つと良子さんの熱は徐々に下がってきました。

シート 3

そして夏休み……。フランス行きの飛行機の中で良子さんと菊子さんは楽しそうにおしゃべりしています。

良子「この前熱が出たとき薬を飲んだら、わりと早く効いたわ。」

菊子「ほんとうによかったわね。私も熱が出た時、病院に行ったら坐薬をもらったことがあったけどけっこう良く効いたわ。」

良子「でも人によっては薬が効きにくい場合もあるみたいよ。」

二人がおしゃべりしている内に、飛行機は無事パリのドゴール空港へ到着しました。